1 剰余の定理

P(a) を a に関する多項式とする

$$P(a)=(a-k)Q(a)+R$$
 $\qquad \qquad (P(a)\ \ε\ (a-k)\ @psilon\ (a$

具体例

$$P(a)=a^n-b^n$$
 とすると、 $P(b)=b^n-b^n=0$ なので、 $(a-b)$ は a^n-b^n を割り切れる 実際に、 $a^n-b^n=(a-b)(\sum_{k=0}^{n-1}a^{n-1-k}b^k)$ $n=3$ のとき、 $a^3-b^3=(a-b)(a^2+ab+b^2)$